

歌あり！ 踊りあり！ クリスマス子育てふれあいコンサート

12月5日、中央公民館で第18回生涯学習フェスティバル主催事業「あきらちゃん&ラーメンちゃんクリスマス子育てふれあいコンサート」を開催しました。この日は、小学2年生以下の子どもとその保護者約400人が参加。あきらちゃんとラーメンちゃんの歌や声に合わせて、親子でふれあいながら、歌ったり、踊ったりして、楽しいひとときを過ごし、会場はたくさんの笑顔であふれていました。参加者は「子どもだけではなく、大人も楽しめるイベント。子どもとふれあえてとても楽しかった」と話してくれました。



▲歌に合わせてステージで踊る参加者たち

地域のつながりを未来へつなぐ 第3回上郡山自治会館まつり

11月21日、地域の活性化と交流を図ろうと上郡山自治会館運営委員会主催で、「第3回上郡山自治会館まつり」が開催されました。おまつりではステージで自慢の歌を発表したり、野菜などを販売したりと多彩なイベントを開催。また、婦人防火クラブの皆さんが腕をふるっていても煮汁などを振る舞いました。自治会長の小野忠昭さん（上郡山第一）と齋藤健さん（上郡山第二）は、「地域の交流を図ることで、ここに住んで良かったと子どもたちが思ってくれたらうれしい。地域がつながることが防犯や防災にもつながると思います」と話してくれました。



▲会館には子どもたちの笑顔があふれていました

子どもと大人の接点の場所に 第7回寿山自治会館まつり



▲みんなで竹とんぼづくりに挑戦

11月27日・28日の両日、寿山自治会館で7回目となる会館まつりが開催されました。同会館が完成したときに、「寿山自治会の子どもと大人の接点の場所にしたい」という思いから始まったこのおまつり。毎年、ちぎり絵や水彩画、写真など自慢の作品が展示されたり、竹とんぼなどの竹細工づくりコーナーが設けられたりと、大人も子どもも遊べるおまつりとして定着してきました。

寿山自治会の高橋丈夫会長は、「みんなが集まる場所として、これからも続けていきたいです」と、地域のさずなの大切さを話してくれました。

元気に100歳を迎えました 引地ちゑさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈呈



▲風間市長とご家族の皆さん

12月3日、城北町にお住まいの引地ちゑさんを風間市長が訪ね、満100歳を迎えたちゑさんに祝詞と松竹梅敬老祝金を贈りご長寿を祝福しました。ちゑさんは半沢屋敷前に生まれ、結婚後は、4人の子育てに奮闘の日々を送られました。現在、孫が2人、ひ孫が1人います。毎日、新聞を隅々まで読んだり、テレビの時代劇を見たりすることが楽しみとのこと。食べ物の好き嫌いもなく、毎日1,800kcal程度の食事にすることを心掛けるなど、健康に配慮して生活を送られています。この日はご家族と一緒にご長寿を祝福しました。

感謝の気持ちと収穫の喜びを味わう 南保育園収穫祭

11月11日、南保育園で収穫祭が行われました。同園では、大庭儀四郎さん（小下倉）の畑をお借りして、サツマイモ掘り体験を5年前から実施。この日は、園児たちが掘り出したサツマイモを焼き芋にして食べたり、持ち帰って天ぷらなどにして食べました。焼き芋を食べた園児たちは、感謝の気持ちと収穫の喜びを味わいながら、「あまくておいしい」「どうもありがとう」と大庭さんに話し掛けていました。また、焼き芋はご近所にもおすそ分けし、秋の味覚をみんなでいただきました。



▲焼き芋を食べる園児たち

琴の演奏に合わせて童謡を口ずさむ 東保育園大正琴を聴く会

11月22日、東保育園で蔵王町の「こまくさ琴の会」（松崎満代会長）の皆さんが大正琴の演奏を披露しました。今回の演奏は、蔵王町の福祉施設などで演奏を披露している同会から、「園児に大正琴を聴かせたい」との申し出があり実現。この日は、「どんぐりころころ」などおなじみの曲を次々に披露し、園児たちは演奏に合わせて一緒に口ずさみました。演奏の後、11月に誕生日を迎えた年長園児が、松崎さんなどから弦の押さえ方やはじき方を教わりました。初めて大正琴にさわった園児は、「音が出たのでとてもうれしかった」と話してくれました。



▲松崎さんから大正琴を教わる園児

地域とともに子育て 白川保育園秋まつり



▲みんなで元気にわらべうた遊び（どんでん橋わたれ）

11月11日、白川保育園で「秋まつり」を開催しました。同園は、地域とのかかわりを大切に保育活動をしており、おまつりには、園児のおじいちゃんやおばあちゃん、地域の皆さん約30人が参加。保育園の畑で収穫した白菜を使って、お昼ご飯の芋煮汁をみんなで準備したり、市内在住の津軽三味線奏者・小野越郎さんが演奏するアンパンマンなどの曲に合わせて歌ったりしました。

また、園庭では園児がうーめん体操を披露したり、わらべうた遊びをしたりと、大人も子どもも一緒になって楽しい時間を過ごしました。

い～もの、み～つけた！ 大鷹沢保育園でサツマイモ掘り



▲大地の恵みを前に、園児たちは大はしゃぎ！

11月8日、大鷹沢保育園の園児たちが元気にサツマイモ掘りを行いました。秋晴れに恵まれたこの日。3・4・5歳児約40人が、「取れたあ！」「大きい！」と歓声を上げながら、掘ったばかりのサツマイモを手に満面の笑顔を見せてくれました。掘ったサツマイモは、早速、焼き芋にしておいしくいただきました。

同園では、以前から食育の一環としてジャガイモやトマト、キュウリなどを栽培。園児のおじいちゃんやおばあちゃんも手入れに参加するなど、地域のつながりを大切にしながら、「食」の教育を実践しています。